



日本生薬学会第66回年会(東京)

The 66th Annual Meeting of the Japanese Society of Pharmacognosy (Tokyo, 2019)

東洋医学の叡智を紡ぐ



主催/一般社団法人 日本生薬学会 共催/公益社団法人 日本薬学会



年会会期 2019年9月22日(日)~9月23日(月・祝)

年会会場 北里大学薬学部 (東京都港区白金5-9-1)

年会会長 小林義典 (北里大学薬学部 教授 / 東洋医学総合研究所 薬剤部門長)

9月22日(日)

特別講演Ⅰ:「健康食品のかかえる問題とその解決に向けてできること」長村洋一(日本食品安全協会 理事長、鈴鹿医療科学大学保健衛生学部)

シンポジウムⅠ:「健康食品と生薬に共通する植物素材-有効性と安全性を考える」オーガナイザー・シンポジスト 吉松嘉代(医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター筑波研究部)、内山奈穂子(国立医薬品食品衛生研究所 生薬部)、シンポジスト:袴塚高志(国立医薬品食品衛生研究所 生薬部部長)、池田秀子(日本健康食品規格協会 理事長)、東泉裕子(医薬基盤・健康・栄養研究所 食品機能研究室)

9月23日(月・祝)

特別講演Ⅱ:「漢方診療のレッスン」花輪壽彦(北里大学 東洋医学総合研究所 名誉所長)

招待講演:「生薬のひとつとき」佐橋佳郎(北里大学 東洋医学総合研究所 薬剤部)

シンポジウムⅡ:「麻黄のドーピング・副作用防止対策として期待されるエフェドリンアルカロイド除去麻黄エキス(EFE)」オーガナイザー・シンポジスト 合田幸広(国立医薬品食品衛生研究所 副所長)、日向須美子(北里大学 東洋医学総合研究所 臨床研究部) シンポジスト:大嶋直浩(東京理科大学薬学部)、中森俊輔(北里大学薬学部)、天倉吉章(松山大学薬学部)、袴塚高志(国立医薬品食品衛生研究所 生薬部部長)

市民講座(無料):「在宅医療での東洋医学の実践-そこから見える日本の未来」米田吉位(ワイズクリニック)

一般演題募集 : 2019年5月7日(火) ~ 7月1日(月)
事前参加登録 : 2019年5月17日(金) ~ 8月2日(金)

年会参加費 : 日本生薬学会または日本薬学会会員 8,000円(当日 10,000円)
学生会員 4,000円(当日 5,000円), 非会員 12,000円(当日のみ)
懇親会参加費 : 日本生薬学会または日本薬学会会員 10,000円(当日 13,000円)
学生会員 5,000円(当日 7,000円), 非会員 13,000円(当日のみ)

年会HP <http://sun-and.moon.bindcloud.jp/JSP2019/>

